

「嗚呼カモメ」

三郎

「夫が病氣になったり失業したらどうなるのかしら？

『私 幸せになります』だって」

――若者に大人気の

海の見えるイタリアンレストランでの華燭の典

花嫁にケチをつけるだけではない

「絶品だな」

私が感嘆するパスタも妻はこき下ろす

「このアサリもホンビノス貝も貝の味を殺してる

三番瀬産とうたうのはやめてほしいわ

サラダはハーブの香りがきつ過ぎる

伊勢海老は茹で過ぎ」

フィナーレの手品仕掛けで青空に飛び去る白い鳩にまで

「あれはカモメよ」

何かに抗うように老いるほど意地悪く気難しくなる妻

けれど かえって愛しさが増すのだ

私にとってこの世で一番哀しい鳥はヒトリで

妻が鳩をアホウドリやサギ扱いしないことでよしとして

カモメが群れる海を眺めた